

2026年 3月 22日

主 日 礼 拝

8時半 / 10時半 / 夜7時

司 会 石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱 石井 洋子姉

賛 美 聖歌426番「あだに世をば過ごし」

～叫べ、全地よ～

主の祈り

聖書朗読 ピリピ人への手紙1章18～21節

特別賛美 「貴き救い主」[セイブ・レイトン・ザ・ス]/上田加バリー聖歌隊

メッセージ 「生きることはキリスト」 石井 潤 牧師

献 金 聖歌399番「カルバリ山の十字架」

～明日はどんな日か～ (献金当番: 渡辺姉・小林[弘]姉)

祝 禱

お知らせ [司会者]

賛 美 ～あなたはわが力～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします! ☆
《今週のお知らせ》

☆本日も礼拝の恵みを感謝致します! 午後は、聖歌隊の練習が行われます。

★祈会: 明朝6時、木曜午前10時半(ルリ子先生)/午後7時半、土曜夜8時。

☆来週は受難週礼拝(司会: 白川兄/祈り: 石井兄/献金: 寺澤[政]姉・和田姉)。

◇来週日曜の大和第三礼拝にて、大川従道師、道子師ご夫妻の主任牧師引退式と監督牧師就任式、及び、小山英児師、晶子師ご夫妻の主任牧師就任式が行われます。

◎4月5日(日)には、イースター礼拝と納骨式及び召天者記念礼拝が行われます。

☆一年に一回聖書を完読できる! Bible Reading Plan [3/22-29]☆

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	ルカ 2/ 申命記 22-24	2/ 25-27	3/28	3-4/ 29-30	4/ 31-32	5/33-34, ヨシュア記 1	5/ 2-4	6/ 5-6
チェック	○/○○○	○/○○ ○	○/○	○○/○ ○	○/○○	○/○○○	○/○○ ○	○/○○

「生きることはキリスト」

～苦しみの中にあっても与えられる大いなる主の喜び～

「私にとって、生きることはキリスト[喜びの源]であり、死ぬことは益なのです[キリストと共に永遠に生きる]。』

ピリピ人への手紙1章21節[協会共同訳・Amplified Bible]

ガラテヤ書2章20節で「生きているのは、もはや私ではありません。キリストが私の内に生きておられるのです。[協会共同訳]」とパウロは既にも書いています。「生きることはキリスト」とは一体どんな意味なのでしょう？英語の詳訳聖書[Amplified Bible]では、キリストは「喜びの源」であると訳されています。ピリピ書のテーマは「喜び」。しかし、パウロが語っている喜びは、苦しみの中でも変わらずにあふれてくる尽きることのない永遠の喜びです。

パウロはローマの獄中からこの手紙を書いています。軟禁状態であったとしても、囚われの身であるので、とても不自由な中にあります。外に出ることは許されません。また、そんな囚われの身である、パウロの語っていることに対して、パウロ自身を苦しめるために、攻撃してくる人々もいました。

しかし、そんな苦しみの中にあっても、イエス・キリスト様が成し遂げてくださった救いの道は誰も閉じることはできません。その救いの知らせは良いニュース＝ゴスペル＝福音となって、全世界に広げられるようになっていきました。パウロは自分が苦しい状況にいたとしても、キリストの救いの福音が全世界に広げられていることに対して心から喜んでいました。自分が主にあって生かされていることを通してキリストの救いが証されることが自分自身の喜びであることを味わっていました。その心が「生きることはキリスト」ということばに要約される内容なのだと教えられました。